

廃棄物削減、ゼロ・エミッション化

国内16事業所でゼロ・エミッション化を達成しました。2005年度までに残り3事業所達成に向けて推進しています。

当社では、廃棄物の排出量削減(リデュース)、再利用(リユース)、再資源化(リサイクル)によりゼロ・エミッション化を推進しています。

環境自主行動計画目標(クボタ生産事業所)

ゼロ・エミッション

社内・社外の埋立廃棄物を「ゼロ」にする。

達成目標年度：鋳物系・機械系事業所 …………… 2003年度

その他事業所 …………… 2005年度

定義：「ゼロ」とは廃棄物の埋立量を原則1%以下に削減すること。

廃棄物排出量削減

廃棄物の排出量を2005年度に2000年度比10パーセント削減する。

2003年度実績

ゼロ・エミッション

2003年度までに全ての鋳物系・機械系事業所でゼロ・エミッションを達成しました。(16事業所)

廃棄物排出量

2003年度におけるクボタグループの廃棄物排出量は97,818トンとなり、2000年度比24.4%削減しました。

廃棄物の再資源化率

廃棄物の有効利用に努めた結果、再資源化率は2000年度より11.3ポイント向上し98.4%となりました。

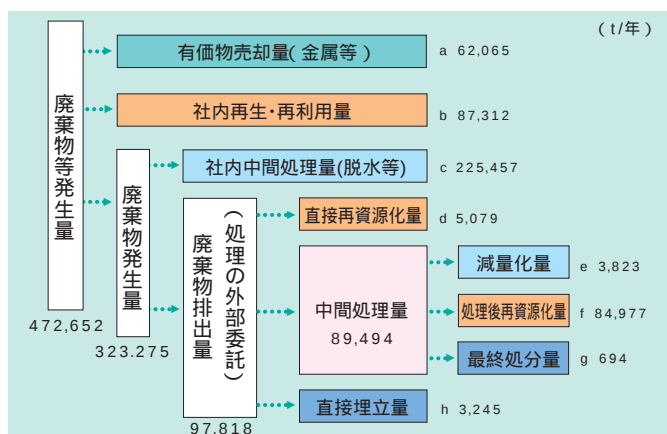
環境推進中期計画

2003年度まで「環境自主行動計画」として、埋立廃棄物の削減と廃棄物排出量の削減に取り組んできました。これまでの活動結果で16事業所がゼロエミッション化を達成し、廃棄物排出量の削減目標も超過達成しました。2004年度より「環境推進中期計画」として新たに目標を設定し取り組んでいきます。

ゼロ・エミッション化の環境推進中期計画

活動期間	2004年度～2005年度(2年間)
基準年度	2003年度
達成目標	ゼロ・エミッション化 廃棄物排出量を▲3%/年削減 再資源化率を1%/年向上

循環資源処理フロー



(注)・再資源化率(%)=(a+b+d+f)÷(a+b+d+f+g+h)×100

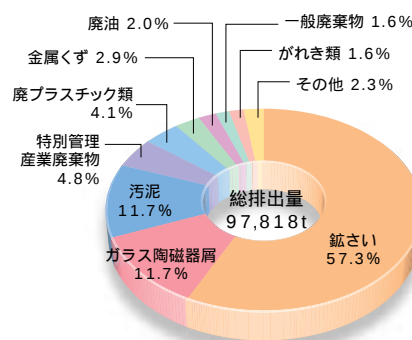
・社外中間処理に伴う減量化量、処理後再資源化量、最終処分量は委託先での調査結果です。

・流通回収廃棄物は除外しています。

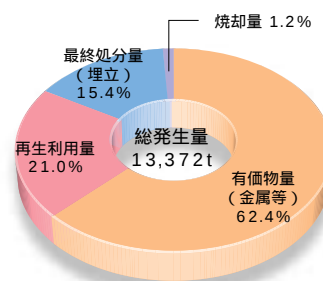
3R実施によるコスト低減効果

排出量削減、再利用、再資源化による廃棄物委託処理費用および原料等購入費の低減、有価物の売却等により、年間200百万円のコスト低減効果を生み出しています。

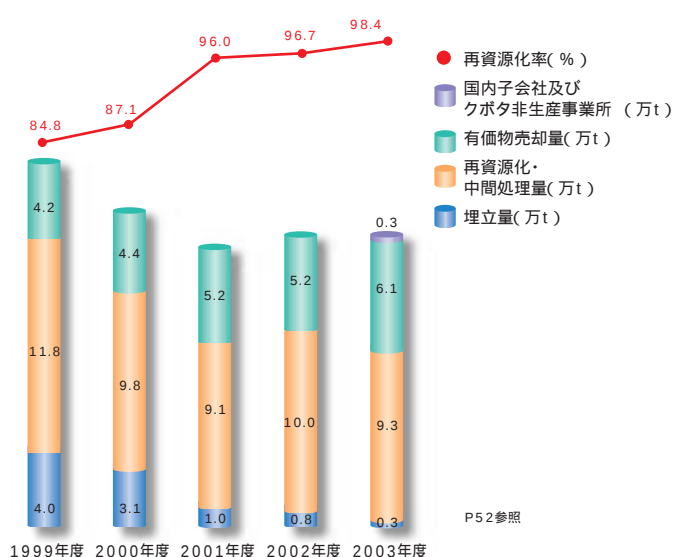
産業廃棄物排出量と内訳



子会社海外事業所での廃棄物等発生量



廃棄物排出量・有価物売却量・再資源化率推移



種類別コスト低減効果

